

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15107005	人工環境に対する生理反応の多型性に関する生理人類学的研究	勝浦 哲夫 (千葉大学・大学院工学研究科・教授)	B
<p>現代社会に特徴的な人工的生活環境に対する人類の適応能について、味覚、唾液分泌量、消化機能などの生理機構に多型性や変異を発見したことは大きな学術的意義があり、今後医療の効率化や生理機能の計測法の改善に寄与するものと高く評価できる。ただ、多型性を証明するには解析がやや不十分であり、その意義について総括されていない点が惜まれる。</p> <p>また、成果が知名度の高い国際誌にまだ公表されていない点や、ストレス低減について具体的な提言をするにはいたっていない点には不満が残る。今後は、できるだけ早く成果を国際誌に発表するとともに、生理反応の多型性を明らかにするだけでなく、その適応的意義について考察を深めていくことを期待したい。</p>			